

二〇二二年度大会の概況

日本思想史学会二〇二二年度大会は、十一月五日（土）、六日（日）の両日、同志社大学今出川校地新町キャンパスにて開催された。

第一日目は「人と動物のかかわりの思想史」をテーマにシンポジウムが開催され一般にも公開された。報告は左の通りである。

報告

近現代日本における猫への眼差し

——「猫好き」とは何か？——（早稲田大学）真辺 将之
犬に道ありや？——近世的「禽獸」観の中の賀茂真淵
と滝沢馬琴——（筑波大学）板東 洋介

日本思想における動物との〈倫理〉——人と動物のたがい
（互い）のたがい（違い）——

（日本女子大学）伊藤由希子
コメンテーター
（武蔵野大学）加藤みち子
（神戸大学）長 志珠絵
（甲南大学）尾原 宏之
司 会

シンポジウム終了後に総会が行われ、評議員より二〇二二年度事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて二〇二二年度事業計画および予算案が提出され、原案通り決定された。

また総会では、選考委員会を代表して荻部直前会長から、第十六回日本思想史学会奨励賞の報告があり、長志珠絵新会長より賞状が授与された。受賞作は左の通りである。

【論文部門】

佐々木政文「安部磯雄の廃娼論とキリスト教信仰——八九—一九一五年の論説を通して——」（『日本思想史学』第五三号）

【書籍部門】

近藤俊太郎『親鸞とマルクス主義——闘争・イデオロギ―・普遍性——』（法藏館）
商兆琦『鈇毒問題と明治知識人』（東京大学出版会）
なお、懇親会は開催されなかった。

第二日目の研究発表の題目と報告者はそれぞれ左の通りである。

〈第一部会〉

研究発表

- 1、『専応口伝』序文にみる仏教思想の系譜についての
一試論 (池坊短期大学) 松本 公一

- 2、山鹿素行の思想における朱子学と仏教

(日本学術振興会特別研究員P.D) 石橋 賢太

- 3、崎門朱子学における修養論の側面―山口菅山を中
心として― (東北大学大学院) ハンデンシ

- 4、新井白石における「楽」と雅楽―『進呈之案』『楽
対』『楽舞考序』を手がかりに― (東京藝術大学大学院) 中川 優子

- 5、近江商人の「陰徳」観念―近江商人の仏教信仰説批
判― (愛知教育大学) 前田 勉

〈第二部会〉

研究発表

- 1、蘇る大国主神と「神道」の成立(二六五三―一六六
七) (小松大学) 鍾 以江

- 2、『大乘仏教概論』と万国宗教会議

(東北大学大学院) 范 帥帥

- 3、時事新報社主福沢諭吉の憂鬱―社説研究の総括―

(静岡県立大学) 平山 洋

- 4、柴田礼一の実行教管長就任と教派神道界

(佐賀大学) 三ツ松 誠

- 5、近代「国史学」の展開と史学理論

(フートルダム女学院中学高等学校) 池田 智文

〈第三部会〉

研究発表

- 1、新渡戸稲造の開拓主義 (北海道大学) 権 錫永
- 2、鈴木大拙の近代批判 (早稲田大学) 和田有希子
- 3、坂口安吾の日本文化論 (神戸大学) 齋藤 公太

- 4、「世界史の哲学」から見た戦後世界―高山岩男を手
がかりとして― (大阪大学) 李 嘉棟

- 5、吉本隆明の東工大時代 (東京工業大学大学院) 高橋 優香